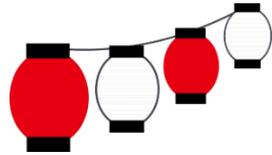




# たかといちどいだよい



令和6年8月 第106号  
たかといちどい保育園

大暑の候、立秋も近づく…

5月号に「(梅雨の時期の) 大気のせめぎ合いは、約一か月半続きます。だんだん海水温が上がり、勢いを増した南の空気が、北の空気を押し上げると、夏の到来です。」と書きました。ところが、今年の近畿地方の梅雨入りは6月21日で、平年より2週間以上も遅かったのです。では、梅雨明けも遅いかと思いきや、きっちり平年並みの7月21日でした。わずか1か月間の梅雨でしたが、前線の停滞による災害もなく終わり、とびきり暑い夏がやってきました。

でも、日本列島上でのせめぎ合いは、まだ続いています。東北地方とくに山形県や秋田県の日本海側で、記録的な大雨となりました。被災者の声は、「テレビで見ていたことが、まさか自分の身に起こるとは。」「絶望しかない。何も考えられない。」など、予期せぬ大災害に打ちのめされた驚きと悲しみに満ちていました。

二十四節気は、7月22日から「大暑」です。一年で最も暑い時期になりました。8月7日が「立秋」、22日が「処暑」と、暦の上では夏も終わりになりますが、気象庁の長期予報では、10月まで残暑が厳しいとされています。

7月29日(月)、東日本以西は、災害級の暑さとなりました。栃木県佐野市の最高気温は41.0℃に達し、今年の最高気温となりました。さらに、同じ日に40℃台を観測したのが6地点となり、これも過去最多タイの記録となりました。神戸でも、この夏で最も高い36.0℃でした。

子どもの頃、祖母からよく聞かされた言葉の一つが、「暑さ寒さも彼岸まで」です。「彼岸」は、春分の日と秋分の日の前後3日間を合わせた各7日間のことです。今年の秋分の日は9月22日ですが、このことわざが、まだ日本でも通用することを願うばかりです。

不要不急の外出は避け、十分な栄養と睡眠、水分補給とエアコンによる適切な室温管理に気をつけて、「猛暑」という災害を乗り越えましょう。

宮田 孝一



## 8月の予定

同園会	2日(金)
集まろう☆6年生(6年生)	3日(土)
救急訓練	6日(火)・22日(木)
誕生会	8日(木)
発育測定	19日(月)～21日(水)
避難訓練	21日(水)



内科健診	22日(木)
体育あそび	1日(木)・29日(木)



あさひ組



子どもたちは、代謝が良く毎日よく汗をかいています。あさひ組では6月から毎日活動の後は沐浴を行っています。お湯につかると子どもたちはとても気持ちよさそうにし、ちゃぶちゃぶお湯を触って楽しんでいます。汗をかきやすい首回りや脇の下、お尻などを綺麗に洗い流し、体を清潔にすることで汗疹の予防にもつながります。まだまだ暑い日が続きますが、これからも毎日沐浴をして、快適に心地良く過ごせるようにしていきたいと思います。

今月は、水遊びや寒天あそびなど様々な感触遊びを、保育士と一緒に楽しみたいと思います。初めて遊ぶ寒天あそびやでんぶんのりあそび。子どもたちがどんな表情を見せるのかとても楽しみです。色々な遊びを、見て・触って・感じて楽しんでほしいと思います。



ちゃぶちゃぶ たのしいな

今月のねらい：保育士と一緒に水遊びや感触遊びを楽しむ



うたごえ組



暑さも増し、汗いっぱいかきながら好きな遊びに夢中なひかり組の子どもたちです。体拭きでは「きもちいい～」と笑顔をたくさん見せています。衣服の着脱にも保育士と一緒に取り組んでいます。手や足を通そうとしたり、自分でズボンを穿いたりしてとても意欲的です。手洗いでは、「ここもゴシゴシしてね」と洗い方を知らせると、手の平をすり合わせ丁寧に洗うようになりました。洗った後手を合わせて「ぱっぱっぱっ」と言いながら水を落とし、ペーパーで拭く姿も見られるようになってきました。これからも子どもたちの様子に合わせながら、少しずつできることを増やしていけるように、声をかけたりさりげなく援助したりしていきます。

今月は、表現遊びを楽しみたいと思います。子どもたちに「次は何になりたい？」と聞きながら好きな生き物になりきって、身体をたくさん動かして遊びたいと思います。

よいしょ



ゴシゴシ

今月のねらい：保育士や友だちと様々な生き物になりきって身体を動かすことを楽しむ



うづつ組



シャツやズボンなどを脱ぐ時に裏返しになることがあったので、先月は、そうならない脱ぎ方や服の直し方を伝えました。話を聞くとさっそくやってみようと挑戦したり、脱ぎ方を確認しながら取り組んだりしていました。繰り返し伝えていくことで、少しずつ脱ぎ方が分かるようになってきたようです。これからも裏返しになりにくい脱ぎ方や裏返しになった服の直し方が身に付くよう援助していきます。

今月は、のびのびと体を動かすことを楽しめるように、サーキット遊びやパラバルーン遊びなどをたくさん取り入れていきます。

こうかな？



できた！



今月のねらい：のびのびと体を動かすことを楽しむ



きりんグループ



広告紙を切ったり貼ったりし、様々なものに見立てて作ることが好きなきりんグループの子どもたち。先月は保育士や友だちと毛糸でドーナツ作りをしました。毛糸を巻いていくのが難しい様子もありましたが、色を選んだり、ビーズを飾ったりして楽しんでいました。「おみせやさんごっこはどう?」「ドーナツをどろぼうするゲームしたいな」などと、発想を膨らませ、お店の様子を真似しながら会話をしたり、ルールをみんなで作ったりして、遊び込んでいました。これからも子どもの発想を受け止め、遊びを発展させていきます。

歯磨きの習慣がついてきているので、8月は丁寧に歯磨きに取り組めるよう、大切さを知らせたり、磨き方を再度伝えたりしていきます。



ドーナツができたよ



今月のねらい：丁寧に歯磨きをしようとする



うやきグループ



先月は、食後の歯磨きを丁寧にできるように子どもたちの傍で声をかけてきました。歯ブラシの持ち方を意識したり、鏡を見ながら丁寧に磨いたり、一人ひとりが意欲的に行っていました。神戸常盤大学の口腔保健学科の実習生が来ていたこともあり、仕上げ磨きをしてもらいながら歯磨きの仕方も教わりました。子どもたちは、とても真剣に集中して聞いていました。コップに入れる水の量やうがいの仕方を年上の友だちが積極的に知らせる姿もあり、異年齢の関わりも深まったように思いました。今後も丁寧に手洗い・うがい・歯磨きができるように声を掛けていきます。

今月は、様々な生き物になりきったり、ジャングルの遊びを発展させたりと存分に表現できる環境を作りたいと思います。

きれいに  
みがけたよ



今月のねらい：様々な生き物になりきったり、作ったり表現することを楽しむ



ぞうグループ



先月はお寿司やさんごっこを楽しみました。必要なものを子どもたちと考え、お寿司やお皿、のれんなどを作りました。お客さんとお店屋さんに分かれて遊ぶと、自分たちで考えた台詞を話したり、それぞれが役になりきったりして楽しむ姿が見られました。また、他クラスの友だちも招待して、お店屋さんを開きました。「なにがいいですか?」「しょうしょうおまちください」と話して、優しく関わる姿も見られました。これからも子どもたちの意見を大切に、遊びに取り入れることで主体的に楽しめるようにしていきます。

今月は脱いだ衣服をきれいに畳むことが習慣づくよう、子どもたちと確認したり丁寧に伝えたりしていきたいです。



こちらです



今月のねらい：脱いだ服を丁寧に畳む

## ひかりぐみ



### 《 野菜に触れよう 》



ひかりぐみでは、毎月様々な野菜に触れる機会を作っています。トウモロコシやきのこ、キャベツなどの食材を見せると、「これはなんだろう?」「はやくさわってみたい〜」と興味をもち、自ら手をのばして触れていました。「おいしそう」「キャベツのにおいがする」など感じたことを言葉で伝えようとする姿が見られました。



わあ〜きのこだ



よいしょ〜



とうもろこしのみが  
みえてきたよ



ちぎったり、匂いを嗅いだり、皮をむいたりすることで五感をフルに働かせ、「かたいね」「たねがあった」「やわらかい」など触れて感じる事を一生懸命伝えようとする姿も多く見られます。今後も引き続き様々な食材に触れる機会を作り、食べ物に興味をもって楽しく食事ができるようにしていきます。



### 《 2人用のボードゲーム 》



ボードゲームと聞くと大人数でワイワイするもの、という印象があるのではないのでしょうか。確かにそういったボードゲームはたくさんありますが、2人で駆け引きを楽しんだり、協力したりするボードゲームもまた魅力的なものです。最近私は少人数でできるボードゲームをよくします。その中からおすすめの2人専用のボードゲームを3つ紹介します。

1つ目は、ゴブレットゴブラーズです。3×3のマス目にコマを置いていき、縦横ななめのどれかに3つ揃えることができると勝ちという3目並べのゲームです。コマには大中小3種類があり、大きなコマはより小さいコマに重ねることができます。すでに置かれているコマに重ねたり動かしたりしつつ、相手より先に3つ並べる可愛いコマと駆け引きが魅力のゲームです。対象年齢が5歳以上の子どもから大人まで楽しめるゲームになっています。

2つ目は、パッチワークです。9×9のボード上に可愛い柄のタイルを配置して、きれいなパッチワークを作るゲームです。ボタンと時間を支払って生地のタイルを手に入れるので、ボタンを手に入れる量と生地を手に入れたことで減る時間、2つのリソースを上手に管理する必要があります。対象年齢8歳以上で、きれいな見た目と次にどの生地を取るのかで頭を悩ませるのが楽しいゲームです。

最後に紹介するのはスカイチームです。この6月に日本語版が出たばかりの新しいボードゲームです。2人で4つずつのサイコロを振って、エンジンや無線などの装置を模したボード上に置いていくことで、上手く飛行機を飛ばそうという協力ゲームです。操縦士と副操縦士に分かれて4つずつサイコロを振り、暗黙の連携でサイコロを置いていきます。この時航路上に別の飛行機が飛んでいたり、軸が傾いていたり様々な障害があり、それを協力して上手く乗り越えられたときはとても達成感があります。また、様々な航路が用意されており、石油を使用したり、インターン生の訓練を行ったりと、多種多様な要素が用意されています。対象年齢は14歳以上で難しめのゲームですが、2人で協力するボードゲームとして楽しみ続けられるゲームです。

紹介した3つのボードゲームの他にも、2人で楽しめるボードゲームはたくさんあります。暑い夏の日在家中涼みながら、親子や夫婦、友だちと一緒に、ボードゲームを楽しんでみてはいかがでしょうか？

御倉 颯太